

1 雑誌・報告書等(2000年度)

(1) 大気騒音研究担当

(大気)

- ・都市ごみ焼却炉における凝縮性ダストの調査()：川崎市公害研究所年報，第27号
井上俊明，古川功二，三澤隆弘，石田哲夫，湯川茂夫，川村和弘
- ・川崎市における浮遊粒子状物質調査(1991～1998)：川崎市公害研究所年報，第27号
松尾清孝，菊地美加，岩淵美香，原美由紀，高橋 篤，木所義之
- ・多重管拡散デニューターを用いた大気中のガス，粒子分別捕集調査：川崎市公害研究所年報，第27号
岩淵美香，豊田恵子，井上俊明，高橋 篤，林 久緒
- ・有害化学物質調査：平成12年度神奈川県臨海地区大気汚染調査報告書，2001年3月
浦木陽子ほか神奈川県臨海地区大気汚染調査協議会
- ・大気中微小粒子実態調査：平成12年度神奈川県臨海地区大気汚染調査報告書，2001年3月
岩淵美香ほか神奈川県臨海地区大気汚染調査協議会
- ・平成11年度関東浮遊粒子状物質合同調査結果報告書：一都三県公害防止協議会，2001年3月
松尾清孝，岩淵美香(分担執筆)
- ・平成11年度川崎市における環境放射能調査報告書，39：川崎市公害研究所，2000年11月
高橋 篤 ほか

(騒音)

- ・環境騒音の変動調査(第5報)：川崎市公害研究所年報，第27号
永田義昭，木所義之

(2) 水質研究担当

- ・川崎市内の河川，海域における化学物質濃度分布調査結果(3)：川崎市公害研究所年報，第27号
関 昌之，丸山朝子，柴田幸雄，吉田謙一
- ・川崎市内河川における水質調査結果(1999)：川崎市公害研究所年報，第27号
漆畑 實，村上明美，喜内博子，佐藤賢二，吉川サナエ
- ・平成10年度川崎港海域における化学物質環境汚染実態調査：川崎市公害研究所年報，第27号
柴田幸雄，関 昌之，丸山朝子，吉川サナエ
- ・川崎港周辺の赤潮調査(第2報)：川崎市公害研究所年報，第27号
喜内博子，村上明美，漆畑 實
- ・川崎市内河川における水生生物分布調査結果(1999)：川崎市公害研究所年報，第27号
丸山朝子，喜内博子，村上明美，漆畑 實

(3) 廃棄物研究担当

- ・飛灰中ダイオキシン類の揮発脱離分解による除去技術：川崎市公害研究所年報，第27号
川村和弘，湯川茂夫，石田哲夫，三澤隆弘，永田義昭，秋山 肇*，塩満 徹*
(* 日本鋼管(株))
- ・飛灰中ダイオキシン類の除去技術に関する研究報告書：川崎市公害部・日本鋼管(株)，2000年2月
永田義昭，石田哲夫，湯川茂夫，三澤隆弘，川村和弘，秋山 肇*，塩満 徹*，鮎川 将*，藤沢能成*
(* 日本鋼管(株))

2 学会発表・講演等(2000年度)

(1) 大気騒音研究担当

(大気)

- ・川崎市における大気中揮発性有機化合物濃度：第41回大気環境学会年会，2000年9月，浦和市
安藤 仁，鈴木 茂
- ・神奈川県臨海地区におけるビスフェノールAの大気濃度測定：第41回大気環境学会年会，2000年9月，
浦和市
浦木陽子ほか神奈川県臨海地区大気汚染調査協議会
- ・川崎市における浮遊粒子状物質調査：第24回環境・公害研究合同発表会，2000年6月，川崎市
松尾清孝，菊地美加，岩淵美香，高橋 篤

- ・川崎市における大気中揮発性有機化合物濃度：第27回環境保全・公害防止研究発表会，2000年11月，静岡市
安藤 仁，藤田周治（公害部自動車対策課）
- ・アルキルフェノール類の分析について：第18回環境科学セミナー，LC/MS 講演会，2001年3月，東京
浦木陽子，鈴木 茂
- ・高分解能GC/MSによる大気中PCB異性体調査：第9回環境化学討論会，2000年6月，札幌市
浦木陽子，鈴木 茂

(2) 水質研究担当

- ・川崎市内河川における親水施設調査結果：平成12年度公害研協議会関東甲信静支部水質専門部会，2000年8月31日～9月1日 前橋市
漆畑 實
- ・身近な化学物質に関するリスクコミュニケーションの現状：第3回日本水環境学会シンポジウム，2000年9月13日～14日，摂南大学
丸山朝子
- ・川崎港海域における環境ホルモン調査：第24回環境公害研究合同発表会，2000年9月14日川崎市
関 昌之，柴田幸雄

(3) 廃棄物研究担当

- ・家庭ごみ排出調査結果からみたごみ組成の推移：第24回環境・公害研究合同発表会，2000年6月，川崎市
三澤隆弘，飯田雅敏
- ・飛灰中ダイオキシン類の揮発脱離分解：第22回全国都市清掃研究発表会，2001年2月，川口市
石田哲夫，三澤隆弘，湯川茂夫，川村和弘，塩満 徹，平山 淳*，岩崎敏彦*，藤沢能成*，秋山 肇*
（* 日本鋼管（株））

3 委員参画

飯田雅敏

- ・ORS研究会委員：有機系廃棄物資源循環システム研究会